

唐津特別支援学校の教育の理念

・本校では、児童生徒一人一人に応じた教育活動をとおして、子どもたちの持つ可能性をできる限り引き出し、広げられるように、子どもたちが主体的に取り組む学校生活づくりを目指している。実際的で具体的な活動を準備し、体験的な活動に触れることを特に重視している。そのため、学校の近辺や公共の交通機関を利用し唐津の街に出かけていき、さまざまな学習活動に取り組んでいるところである。

唐津特別支援学校の誇れるもの

- ・唐津城や虹の松原、名護屋城など歴史的にも貴重な名所旧跡がたくさんある「まつらの里」にある学校である。学校の側にある松浦川を挟んで、双水古墳があり、学部によって、双水古墳まで出かけたらしながら、歴史に触れあうことができる。
- ・学校の運動場からは、松浦さよ姫伝説の鏡山「ひれふり山」を仰ぎ見ることができる。

中学部・高等部の作業学習の取組

年に2回、地域での販売実習

- ・本校の中学部・高等部では、毎年、6月と2月に地域の量販店で、作業学習で製作した製品を展示・販売を行っている。生徒は、校内だけに留まらずに、校外での活動(販売実習)を行うことで、地域の方々から、支えられながら生活をしていることに気づくことができている。



唐津うまかもん市場での販売会
(高等部)

学校所在地: 佐賀県唐津市山本788番地12号

連絡先: 電話 0955-78-2394(代表)

生徒数: 小学部(38名) 中学部(27名) 高等部67名)

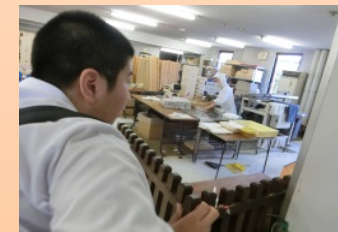
総合的な学習の時間の取組の紹介(中学部)

- ・この学習活動では、「唐津を知ろう」という单元名で、唐津の文化や歴史、食について調べたり、まとめたりしながら、自分たちが暮らす唐津に興味を持ち、積極的に学習に取り組むことができた。

活動内容や学習方法等について

- ・唐津の有名な場所や名産などを、生徒が唐津在住の職員に質問してまわり、回答された内容をまとめあげた。また、その中から興味ある唐津の文化や歴史的な施設、お菓子工場などを見学したり、調べたりし、まとめたことを発表した。

- ・唐津の銘菓松露饅頭の製造工場を見学した。作り方に興味を持ちながら、いろいろなことを質問し、学校にもどってから、学級でも松露饅頭作りに挑戦した。



大原松露饅頭工場見学

- ・唐津くんちが無形遺産としてユネスコに登録された。その曳山を見学するために、唐津曳山会館や西城内の西ノ門館での曳山の修理の様子に興味津々で見入っていた。



曳山(七宝丸)の修理の様子を見学